

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード 5-2-2		事業名 地域スポーツクラブ支援事業		
担当 観光文化局スポーツ部企画事業課 福士 Tel 211-3044				
全体計画				
事業内容	札幌における総合型地域スポーツクラブの登録制度の確立と、その支援体制を構築し、地域スポーツ団体の活動の充実を図ることで、市民が身近な場所で気軽にスポーツに親しめる環境を整備する。 ①総合型地域スポーツクラブ登録制度の構築 札幌市における総合型地域スポーツクラブの諸条件及び登録手順等の構築 ②地域スポーツ団体に対する支援ネットワークの構築 区体育館を拠点とする行政と地域スポーツ団体等の支援ネットワーク構築 ③地域スポーツコーディネート:プログラムサービス 総合型地域スポーツクラブに対する事業プログラム提供、運営サポート及び各種研修実施等の支援 ④地域スポーツ情報の集積発信:インフォメーションサービス 各地域におけるスポーツ活動情報の集積及び情報を地域住民と共有するためのインフォメーションシステム(WEB等)の構築		<年度別の事業内容> <平成20年度> 地域スポーツ団体のニーズや実情等情報収集を行い、具体的な支援事業計画を策定。 <平成21・22年度> 上記計画に基づき、(仮称)スポーツインフォメーションセンターの設立を行い、具体的な地域スポーツ団体への支援や情報発信業務に取り組む。	
	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)	
事業内容・量・場 ・ 所 ・ 規模 ・ 件数 等	平成21年度事業内容(決算)		平成22年度事業内容(決算)	
	(財)さっぽろ健康スポーツ財団に業務委託し、地域スポーツ団体に向けた取り組みを進めるための事業計画の策定を行った。 ①総合型地域スポーツクラブ登録制度構築業務 札幌市における総合型地域スポーツクラブの「登録要項」、「登録申請書等様式」、「登録審査基準」について素案を作成した。 ②地域スポーツ団体に対する支援ネットワーク構築 区体育館を拠点とした地域スポーツ団体とのネットワークについて、その体系素案を構築。既に地域との意見交換などを行っていく区体育館の実績等を整理し、次年度以降の取り組みの準備を進めた。 ③地域スポーツコーディネート業務 登録された総合型地域スポーツクラブに対し提供する支援プログラムについて、これまでの財団の実績等を踏まえて素案を作成した。 ④地域スポーツ情報の集積・発信業務 地域スポーツの現状や課題を把握するために体育振興会を対象としたアンケート調査を実施した。		・21年度に策定した事業計画に基づき、具体的な事業展開について体育振興会の連絡組織等との意見交換を行った。 ・意見交換の結果、策定した登録制度については、地域スポーツクラブとして登録することについて、主にその必要性について合意を得られず、導入を見送こととした。 ・ただし策定した「登録審査基準」については、各種サポートを受けるための「基準」として活用することとし、基準を満たしたうえでサポートを受けた団体について、「地域スポーツクラブ」として位置付けることとした。 ・21年度に策定した事業計画に基づき、ニュースポーツ体験や子どもの体力向上を図る運動教室等の支援プログラムのモデル事業を3団体にて実施した。 ・緊急雇用創出推進事業を活用し、地域スポーツ情報を集約、発信することを目的としたホームページ「さっぽろ地域スポーツ応援サイト さぼスポネット」を製作した。	

## 平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	5-2-2			事業名	地域スポーツクラブ支援事業		
<b>達成目標の状況</b>							
項目	18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (実 績)	21年度末 (実 績)	22年度末 (実 績)	22年度末 (目 標)	
総合型地域スポーツクラブの設立(累計)	1カ所	1カ所	1カ所	1カ所	3カ所	5カ所	
<b>市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)</b>							
<p>■市民との連携、市民参加 当該事業は市民によって構成される地域スポーツ団体を対象とする事業であり、意見交換会などを通じて対象団体の実態やニーズを把握し、具体的な事業内容の検討を進めている。</p> <p>■企業等との連携・協働 [資金協力](該当なし) [人材協力](該当なし) [情報協力](該当なし) [その他の協力](該当なし)</p> <p>■市民・企業等が参加しやすい環境づくり (該当なし)</p>							
<b>評価(成果)</b>			<b>課題</b>				
<p>・22年度までの事業計画に基づき、支援プログラムをモデル的に地域で実施した結果、プログラムの有効性や効果的な実施方法等について検証することができた。</p> <p>・これまでの課題であった地域スポーツ団体や市民に対する情報発信ツールについて、インターネットホームページを構築することによりタイムリーな情報発信を行うことが可能となった。</p>			<p>モデル事業等を通じて、事業の有効性等については検証されたものの、各地域スポーツ団体が支援プログラム事業及びインターネットホームページの内容及び効果を十分に認知するまでには至っていないため、今後積極的に周知していく必要がある。</p>				
<b>今後の事業の予定・方向</b>							
<p>・当該事業により構築される地域スポーツ団体とのネットワークは、今後当市が掲げる様々なスポーツ施策を展開するにあたり、地域住民へ直接働きかけを行う重要な情報提供媒体となりうるため、他の事業と連携を図りながら、市民スポーツの普及に努めていく。</p> <p>・これまでは個々の地域スポーツ団体に対する支援策を中心に展開するとともに、行政と地域スポーツ団体との連携体制の初期構築に取り組んできたが、今後は地域スポーツ団体間の連携や広域的な地域スポーツ振興策について検討を進めていく必要がある。</p>							

## 平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

施策体系コード		5-2-2			事業名	地域スポーツクラブ支援事業				
事業費の推移										
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計				
計画	事業費	0	3,000	4,000	4,000	11,000				
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0	0	0			
		市の債	0	0	0	0	0			
		その他の	0	0	0	0	0			
		一般財源	0	3,000	4,000	4,000	11,000			
予算	事業費	0	0	3,400	0	3,400				
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0	0	0			
		市の債	0	0	0	0	0			
		その他の	0	0	0	0	0			
		一般財源	0	0	3,400	0	3,400			
実績	事業費	0	0	3,276	0	3,276				
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0	0	0			
		市の債	0	0	0	0	0			
		その他の	0	0	0	0	0			
		一般財源	0	0	3,276	0	3,276			
事業費の進捗率		(H19実績+H20実績+H21実績+H22実績) / (計画事業費)					29.8%			
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)										
<p>《全体》 平成20年度からの事業実施のため、当初計画との差異は下記以外特になし。</p> <p>[19年度]</p> <p>[20年度] 予算化出来なかったため、地域スポーツ団体に向けた各種啓発ポスター・パンフレット等の作成を見送ることとした。</p> <p>[21年度] 当初予定とは異なり、啓発物品製作のための需用費も含めて業務委託費として執行した。</p> <p>[22年度] 予算化されなかったが、緊急雇用創出推進事業を活用し、ホームページ等の開発を行った。</p>										